

提言① 部活動地域移行推進計画の策定と周知

将来にわたり子どもたちがスポーツを継続して楽しむことができる機会を確保するため、中学校部活動を地域に移行する部活動地域移行推進計画を早期に策定し、明確な目的と実施スケジュールを市民に対し広く周知されたい。

提言に関連する市の取組内容

(1) R 6 年度の取組内容

- ・地域移行に向けた国の実証事業を推進するとともに、本市の実情に応じた地域移行の課題について意見を聞くために設置した「舞鶴市部活動地域移行あり方検討会」を開催することとしている。
- ・8月には、部活動地域移行・連携のための説明会及び意見交換会を開催し、指導者や部活顧問の方々を対象に「部活動の地域移行」における市が目指す姿について説明を行い、各競技や活動ごとに分かれて意見交換会を実施したところであり、関係者の方々と更なる連携を図りながら地域移行に向けた具体的な取組を進めていくこととしている。

(2) 今後の見込み・市の考え方

- ・実証事業の成果や課題等を踏まえた「(仮称) 舞鶴市部活動地域移行推進計画」について、令和6年度中に策定予定。
- ・この取組は、単に子どもたちの活動の場が学校から地域に移るということではなく、文化・スポーツ活動を通じて、中学生のみならず、多世代が交流することで、魅力あるまちづくりへつなげていくことを目指している。

担当課

教育振興部 学校教育課
生涯学習部 文化振興課、スポーツ振興課

提言② 練習場所や大会への移動手段の確保、送迎の支援

地域部活動を指導する団体や生徒が大きな負担を感じることなく参加できる地域部活動を目指し、練習場所等への移動手段を確保するとともに、保護者等による地域部活動への送迎負担に対する支援策を検討されたい。

提言に関連する市の取組内容

(1) R 6 年度の取組内容

- ・実証事業の実施にあたり、指導者の体制や活動場所を調整し、できるだけ参加者の移動負担の軽減に配慮しながら調整している。

(2) 今後の見込み・市の考え方

- ・実証事業の成果や課題、また保護者の皆さん等からのアンケート結果（実態調査）等を踏まえた制度設計を行い、あり方検討会での意見を踏まえ支援策を構築したいと考えている。
- ・なお、市街地への合同練習等に参加する場合、移動負担を伴う大浦・加佐地域の子どもたちについては、移動手段の確保について検討するほか、できるだけ地域の中学校を拠点とした地域クラブ活動ができるよう、総合的に検討を行う予定としている。

担当課

教育振興部 学校教育課
生涯学習部 文化振興課、スポーツ振興課